

# 第5次総合計画基本構想改定案修正、賛成17人に 「子育て支援に逆行」通園バス分担金条例、反対が13人



12月定例議会は13日、上程された議案などについて委員長報告を受けた後、討論、採決を行い、閉幕しました。注目された第5次総合計画基本構想改定案については、市民クラブ、市政会議、日本共産党議員団が共同して修正案を提出し、光友クラブも修正に賛成しました。請願はいずれも市民の暮らしと営業を守る上で重要なものばかりでしたが、賛成少数で不採択となりました。

私は、上越市第5次総合計画基本構想の改定について、修正案に賛成し、原案に反対する立場で討論しました。

原案に反対する理由は2つです。1つは、総務委員会での議論を尽くさないと見切り発車したこと。11月12日の総務常任委員会は私も傍聴しましたが、将来都市像をめぐっての議論は意見の一致をみませんでした。その時、これは12月議会での提案は無理だな、早くても1月の臨時会だろうと思っただけです。ところが12月議会に提案され、びっくりしました。いうまでもなく、総合計画は市の最上位計画です。議会では全会一致で可決されるように最大限の努力をするべきだったと思います。

原案に反対する理由、いまひとつは、原案にかかげられた将来都市像「海に山に大地に 学びと出合いが織りなす 共生・創造都市 上越」をこり押しすることが14市町村合併での共生の思いを断ち切ることにつながりかねない懸念するからでした。

私たちが修正案で示した将来都市像は、新市建

設計画での将来都市像「海に山に大地に なりわいと文化あふれる 共生都市上越」をメインにすえながら、サブタイトルで「学びと出合いが織りなす創造の力を糧として」を使用し、これまでの市民会議や総合計画審議会の皆さんのご努力も形になって表すことができたと思っています。

市立保育園通園バス運行分担金徴収条例の制定については、反対の立場で討論しました。

反対理由は、子育て支援に逆行するからです。市では、「利用者となる子育て世代に十分配慮した負担額」と説明しましたが、アンケートでの意見欄は反対の声が多かった。説明会での発言を聞いても、重い負担への疑問や心配の声があ

がつていました。また、アンケートの設問も問題がありました。「合併協議に基づいて策定した新制度案であり、妥当と思う」「基本事項について、修正の余地がある」。いずれかにマールを付ける設問は行政側の考えに近いものを引き出そうという意識を持って作成したと言わざるを得ないものです。

## 稲場先住宅、耐震診断へ

今年度の一般会計補正予算に、公営住宅の耐震診断調査委託料が計上されました。この中には吉川区の稲場先住宅も対象に入っています。予算額は浦川原区の住宅分も含め600万円となっています。



漬け菜がおいしい季節になりました。

## 後期高齢者医療制度の中止、米価安定などを求める請願は市民クと共産党議員団のみの賛成少数で不採択

12月議会における主な議案、請願に対する各党・会派の賛否状況

(○は賛成、×は反対、△は賛成と反対の両方に割れたところ)

※通園バス分担金条例については、創風クラブ所属議員のうち、内山米六議員が反対、他の議員は賛成でした。

	2007年度一般会計補正予算	第5次総合計画基本構想改定(修正案)	第5次総合計画基本構想改定(原案)	通園バス運行分担金徴収条例	後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願	米価の安定対策を求める請願	子どもの医療費無料制度の創設を求める請願
毘風	○	×	○	○	×	×	×
市民ク	○	○	×	×	○	○	○
政新	○	×	○	○	×	×	×
創風ク	○	×	○	△	×	×	×
市政会議	○	○	×	○	×	×	×
共産党	○	○	×	×	○	○	○
公明党	○	×	○	○	×	×	×
自民ク	○	×	○	○	×	×	×
光友ク	○	○	○	○	×	×	×
無所属	○	×	○	○	×	×	×

恐れていたことが現実になりました。ぎっくり腰が再発してしまつたのです。金曜日の朝、父の着替えを手伝っていたときでした。電気毛布による低温やけどで父の右足の外側が「赤めどこ」状態になつていて、腰を長女が発見、薬を塗るといふので父の体を後ろから抱き上げようとした瞬間、腰がぐずぐずとなつてしまいました。

私が初めて腰を痛めたのは、三〇年ほど前のことです。耕運機にキャタピラをつけた雪上運搬車で牛乳缶の運搬作業をしていたときでした。当時から村屋まで二〇分くらいはかかったでしょう。雪が降つたある日のこと、旧源農協のそばにあつた集乳場、といつても、水槽があるだけの施設でしたが、そこに着いて、牛乳缶を下ろし始めたばかりのタイミングで大型トラックがやってきて、運搬車を移動しなければならなくなりました。急いで牛乳缶を下ろそうとしたのがいけませんでした。五〇キロもある缶を持ったときに、腰がグニャグニャしてしまい、まさに腰砕けとなりました。

初めて腰を痛めたときのつらさは、いまでも忘れません。トイレでしゃがむことができなくなりました。咳でもしようものなら腰に痛みがズンとききました。車で降り降りするときもそう。何よりも切なかつたのは、腰が痛くても乳しぼりをしなければならなかつたことです。腰を中途半端におろし、乳しぼりをしようとする、牛の方も、いつもと違う様子に警戒心を持ちました。そして搾つた牛乳は、どんなに腰が痛くても缶に入れて運び、水槽で冷やさなければなりませんでした。

以来、物を持つときには腰を痛めないことを意識するようになりました。一回、腰を痛めると、何日も仕事ができなくなるばかりか、立ちねまり、歩行など、まともにできなくなるからです。重いものを持つときは、まず腰を入れて、腰をふらつかさないようにしました。

それにもかかわらず、酪農をやっていたときだけでも、少なくとも五回は腰を痛めた記憶があります。酪農家で腰を痛める人は多く、いかに早く治すか、みんな大きな関心を持っていました。どここの整体師は一発で治してくれる、いろいろ当たつたけれど最後は身近なところが一番良かったなどの情報を交換し合つたものです。

困つたのは、いつたん腰を痛めると、ちよつとしたきつかけで腰を痛めることでした。重いものを持つときは腰を意識しましたから、そう何回もなかつたのですが、むしろ、軽いものを持つときは腰がなりやすかつた。風呂に入つていて、洗い場にある洗面器を取ろうとしただけでぎっくり腰になつたこともあります。

さて、数年前に酪農をやめてからは、重いものを持つてぎっくり腰になる心配はほとんどなくなりました。それで、腰の痛みからはずつと解放されるものと思つていたのですが、一年半ほど前から父が要介護状態となり、再び、腰のことを意識するようになりました。何人もの人に「おまんのじいちゃん、大柄で骨太だすけ、きいつけないや」とも言われていました。だから、また、ぎっくり腰になりやせぬかと注意していたんです。

再び腰を痛めた日。市議会には私の所属する常任委員会でした。佐渡汽船の小木直江津航路問題で質問に立つたものの、腰の痛みは増すばかりでした。家に帰つてもベッド中心の父の生活は変わりません。私はささやかな介護の補助しかできませんが、父が介護を必要とするうちは、なんらかの手助けをしてやりたいと思います。早く腰の痛みを治して、自宅でできる介護の基礎知識ぐらいは身につけておかないと……。

## 妊婦健診の公費負担拡大を予算要求します

アンケートに寄せていただいた声の中に「産婦人科の診療のお金は保険が適用されません。もう少し助成してください（現在無料券5枚です）。少子化と言われているのはお金がとてかかるからです！ 子どもを育てやすい環境づくりを望みます」というのがありました。さっそく、市役所などで調べ、検討した結果、26日に私ども日本共産党市議団で市長に提出する新年度予算要望書の中に公費負担の拡大を盛り込むことにしました。できれば糸魚川市なみに15回、当面、少なくとも10回は公費負担にしてほしいと思っています。上越市では、妊娠・出産にかかる経済的負担を軽減し、積極的な妊婦健康診査の受診を図るため、今年か



ら、公費負担を5回に拡充したばかりですが、母子健康手帳に書いてある通り受診するだけでも、15回前後の回数となります。1回につき、最低6165円かかりますから、たいへんですね。

私どもの市議団では、少子化対策の一環として妊婦健診の公費負担拡大が重要だととらえ、予算要望だけでなく、常任委員会審議や一般質問でもとり上げてまいります。

横爪法一様	
12月分 議員報酬 (12月21日振込)	
報酬	446,000
所得税	6,680
共済費	65,250
市県民税	16,100
議員クラブ費	1,000
会派会費	15,000
郵便局団体保険	0
議長会任意保険	0
日韓議連会費	0
三市議員研修会	4,600
控除計	108,630
差引支給額	337,370

### 私の報酬などについて公開

私が市からもらっている報酬などについて明らかにしてほしいとの声がありましたので公開します。左の伝票は12月分の報酬ですが、この他に費用弁償、ボーナスが収入として入ります。

実質的な手取りは、差引支給額から国民年金保険料、国保税、ガソリン代、政治活動費などを引いた額となります。

なお、新年から私のホームページで毎月の収支を公開する予定です。